この本よむぞう

寒い日が続きますね。外で元気に遊んだあとは、あたたかいへやで

たの 楽しいお話をいっぱい読みましょう。 みずまきまちとしょかん あたら はい ほん 水巻町図書館 新しく入った本 2021.2



ルラルさんのつりざお いとう ひろし/旅 ポプラ社

ルラルさんのつりざおは、なくなったおじいさんからもらったたからもの。けれども、ルラルさんはそのつりざおでつりをしたことがありません。あるひ、ルラルさんがにわでつりざおをふっていると…。やさしいでがいっぱいの絵本です。



シェルパのポルパ

とうちゅうか そう冬虫夏草とおおきなヤク

石川 直樹/文 梨木 羊/絵 岩波書店

ヒマラヤでくらすシェルパのポルパと、ヤクのプモリは親友です。ある日、ポルパは、おばあちゃんのために薬草の冬虫夏草をさがしにいくことになりました。チベットの高山地帯でくらす少年が明るくたくましく生きるすがたを描きます。



空を飛ぶミジンコのなぞ 量 輝行/写賞・受 少年写真新聞社

春の田んぼにとつぜんミジンコが 現れました。 羽も、地 命を歩くた めの 定もないのに、ミジンコはどこ から来たの?…調べると、ミジンコ は生きるためのたくましいちからを もっていたのです。



にほん せかい ぎょうじずかん 日本と世界の行事図鑑 山苗 慎也/監修 スタジオ タック クリエイティブ

節分には邪気 (悪い気)を打ち払うために、福豆をまきますね。 いちな能の行事の由来や、全国のおもしろい風習を調べることのできる図鑑です。



としょかん 図書館はうら側もすごい! 小曲 光宏/監修 WAVE 出版

本を借りたり返したりするだけでなく、 図書館には多くの本を集め、覧ぐ使えるように大切に保管するという役割があります。古く傷んだ本を修理したり、デジタル化して保存したり。図書館のひみつをさぐってみましょう。



ぼくの帰る場所 S·E·デュラント/作 杉曲 七重/訳 すずき出版

AJ は走ることが大好きな 11歳。 両親に学習障がいがあるため、おじいちゃんが一家の生活を手助けしていました。そのおじいちゃんがなくなり、AJ は一家の危機をなんとかのりこえようとするのですが…。 結末が明るく、読後感がさわやかです。